

【平成30年度 第1回 男女共同参画懇話会議事要旨】

日 時 平成30年5月25日（金）10:00～11:45
場 所 市役所 東館1階 会議室5
出席者 委 員…青木、緒方、河合、斎藤、佐藤、三輪、望月
事務局…馬場課長、加藤係長、酒井
傍聴者 0名

1. あいさつ

会長より挨拶

（新委員の佐藤委員より自己紹介）

2. 議題

（1）平成29年度男女共同参画事業実績について（事務局から説明）

- ・LGBTについて、市としてどの程度いるか把握をしたか。
→把握する予定はない。把握やカミングアウトを目的としているわけではなく、多くの人に人たちに理解していただき、ともに生きることが目標。
- ・LGBTのハンドブックを全戸配布したらどうか。思春期の子どもに読んでほしい。学校で配れば保護者も見られるかもしれない。

（2）第3次とよあけ男女共同参画プランの進捗状況について（事務局から説明）

（DV・虐待）

- ・数値上は減っているが実質はどうか。ニュースでは対応の遅れが深刻な事件になっている。数値を載せるだけでなく、市として早く掴むシステムを考えてほしい。

（町内会・区）

- ・豊明市の区長とはどのようなポジションの方か。
→27の行政区があり、そのトップが区長、区の下に複数の町内会がある。
- ・夫の名前で報告し、妻が実動という場合が多い。実態に合わせる方法はないか。
→女性の名で報告してもらおうよう働きかけてはどうか。ご自身の名前を書くことで責任感も出てくるのでは。
→名前を出すことを望まない女性がいることも事実。
- ・市が人材の把握をしていかなければ難しい。
→地域自治ではそれは難しいのでは。

（女性管理職）

- ・企業の場合はどうか。（佐藤委員へ）
→女性の管理職は3.4%（2020年に向けての目標は10%）。全体では、女性は2割弱。

（待機児童）

- ・この人数は、最終的には受け入れられたのか。
→この数値は、希望の場所に入れない‘隠れ待機児童数’と思われる。選ばなければ、数値はゼロとなる。

(女性医師)

- ・女性医師登用率より、受診率の方が重要。
- ・女性医師の人数が少ないため、目標に近づけていくことは難しい。

(男性の育児休暇)

- ・企業はどのくらいか。(佐藤委員へ)
→2割くらい。(1日から2ヶ月まで取得日数には幅がある)
- ・いい制度だが、保育園・幼稚園など他の機関との連動も重要となる。
- ・時短がとりやすい環境づくりも大事。フレックスの導入も。

(高齢者の生きがい支援)

- ・働きたい人、余暇を楽しみたい人、いろいろな方がいる。シルバー、NPO、地域の団体、企業などで何らかの活動を考えていく必要がある。
→担当課では、高齢者の中でサポートしてほしい人、する人を登録してもらい有償ボランティアで動く仕組み作りを行っている。

(3) 男女共同参画川柳・標語の選考について(事務局から説明)

(今年度)

- ・一次選考委員については、河合委員、斎藤委員に依頼。(大野委員は確認)

(来年度検討)

- ・最低1校ほどの学校も受賞するようにすれば、喜びもあり、参加に意欲が出るのでは。
→名前・所属等をふせて作品から選考するのでそれは難しい。10年以上続いている事業であり、同じ単語の組み合わせばかりで、選ぶ側としても厳しいと感じている。積極的な見直しが必要。
- ・いったん白紙に戻し、次回の懇話会までに、子どもたちに男女共同参画を啓発するには…と考えていただきたい。
- ・文化協会では、子ども体験講座の募集用紙を学校へ配布しているが、(往復はがきをすべてつけている)応募数は少ない。今の標語・川柳の募集は、半強制的な印象で両方に負担があると感じる。

(4) 男女共同参画フェスタについて(事務局から説明)

- ・表彰式が関係者だけで毎年寂しいので、3部構成なら間に入れてはどうか。舞台の幕を下ろしてイスを並べずに行ってはどうか。
- ・公演について、横浜の男性保育士の問題があったが、それに配慮した内容となっているか。
→そのような内容が入っていたと思う。かなり評判の高い作品である。

次回開催日について

平成30年 9月 7日(金) 午前10時から